

特定非営利活動法人JAFSA
(国際教育交流協議会)

2022年度 年次報告書

日本の大学を、世界へ。

凡 例

◆団体名、法人格(財団法人、株式会社など)の記載

- ・ JAFSA 会員一覧(JAFSA HP 掲載)の表記と統一とする

◆団体の列記方法

- ・ 原則「会員種別ごと(※)団体名 50 音順」
※『団体正会員(大学)』『団体正会員(教育関連機関)』『団体賛助会員(カテゴリー別)』の順

◆個人名の記載

- ・ 原則「人名(所属機関 所属部署 肩書き)」
- ・ 所属機関、所属部署、肩書きは事業実施当時のものを記載
- ・ JAFSA 役員は「人名(所属機関 JAFSA 役職)」
- ・ 講師／講演者／参加者等すべて敬称略

目 次

1. グローバルネットワーキングに関する事業	3
【海外諸団体との交流および支援】	
(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ	3
2. 国際教育交流の人材育成に関する事業	11
2-1. JAFSA 主催・企画研修プログラム	11
2-2. JAFSA 主催/共催 ウェビナー、オンライン・ワークショップ	15
2-3. JAFSA 共催(共同)調査	18
2-4. JAFSA 協力/後援プログラム	19
3. アウトリーチ・広報に関する事業	22
3-1. 国際教育交流に関する研究・調査	22
3-2. JAFSA の広報に関する事業	23

JAFSAは、 「グローバルネットワーキング」・「人材育成」・「アウトリーチ」の 3本の柱を中心に活動しています。

1. グローバルネットワーキングに関する事業

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体や国際機関との連携をはかり、これら団体が主催する年次大会へのブース出展・セッション発表者派遣等を実施しています。この分野の事業はJAFSA事業の中核に位置しており、JAFSA会員の方々に、多種多様なネットワーク拡大の場を提供しました。

【海外諸団体との交流および支援】

(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ

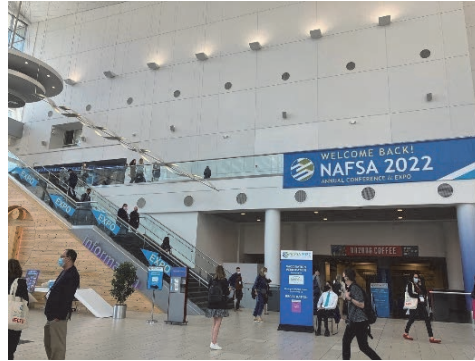
NAFSA(米国)、EAIE(欧州)、APAIE(アジア太平洋)に最重点をおき、ネットワーク形成の促進を目指しました。各海外諸団体の年次大会を通じ「STUDY in JAPAN」を総合的にプロモートし、日本の大学のプレゼンスを高めるとともに、海外におけるJAFSAの位置づけも強化することを目的としています。

1) NAFSA

- NAFSA(National Association for International Educators) は米国で1948年に設立され、2022年で74年目になる世界最大規模を誇る米国の国際教育交流団体。
- 毎年5月下旬から6月初旬に米国(10年に一度程度カナダ)のいずれかの都市で開催されるNAFSA年次大会は、国際教育交流に携わる関係者が集まる国際交流フェアの規模としては世界最大規模で、参加者は例年約100か国より1万名前後。年次大会の内容は、ワークショップ・セッション・ブース出展と大きく3つのジャンルに分かれています。
- JAFSAは以前からセッションへの応募や個々の大学のブース出展を応援してきましたが、2008年から「STUDY in JAPAN」として一部ブース出展の取りまとめを開始しました。当初は6ブース程度と小さい単位でしたが、毎年拡大を続け、2013年度より独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と統合して「STUDY in JAPAN」として取りまとめるに至りました。
- 「STUDY in JAPAN」は、NAFSA最上位会員「Global Adviser」として例年のNAFSA年次大会で日本高等教育の存在を大きくアピールしています。

NAFSA2022 バーチャル+米国・デンバー大会と「STUDY in JAPAN」

『NAFSA 年次大会』は、コロナ禍で 2020 年、2021 年と対面での開催が見送られていましたが、2022 年に米国・デンバーで対面開催が復活しました。今大会は、コロナ禍の影響で対面参加が難しい人達を考慮して、5 月初めに「バーチャル」イベントを実施し、バーチャルのみでの参加も OK するという、「初のハイブリッド方式」での開催となりました。



第1部 バーチャル大会

- ・開催日:2022年5月4日(水)~5日(木)(米国現地時間)
- ・内 容:パネルディスカッション、セッション等

●バーチャル大会の「Silver Sponsor」として日本高等教育をアピール

JAFSA は「STUDY in JAPAN ブース(日本合同ブース)」として大会オフィシャルスポンサーの中でも高ランクの「Silver Sponsor」になり、下記セッションの広報に協力しました。セッションでは、「SDGs」における高等教育の役割、大学が牽引役としてどのような責を担えるか、という内容について4名の登壇者+ Moderator がパネルディスカッション形式で登壇しました。また、セッション冒頭に「STUDY in JAPAN」を紹介する 60 秒の動画が紹介され、日本留学の良い広報となりました。

- ・講演タイトル:Leadership in Sustainability: A Global Showcase
- ・実施日:2022年5月6日(金) 6:00-7:00(日本時間)

第2部 対面大会

- ・開催日:2022年5月31日(火)~6月3日(金)(米国現地時間)
- ・開催地:米国コロラド州デンバー Colorado Convention Center
- ・内 容:ブース展示、対面でのセッション、ワークショップ等
- ・参加人数:92か国から6,200名以上
- ・出展数:41か国から240ブース

●STUDY in JAPAN (日本合同ブース)

JAFSA は例年と同じく、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)、SGU (Top Global University Project)と共同で、「STUDY in JAPAN」として「日本合同ブース」を取りまとめて出展しました。

- ✧ 日本ブースは展示会場内最大規模（24 区画、2 列）
- ✧ 出展団体は「29 団体」（28 大学+1 機関）
- ✧ NAFSA Pavilion（会場の中心地）の近くで出口脇のところで、動線が良く目立つ位置で展開



NAFSA2022「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体 全24ブース、28大学+1機関 <団体名50音順>

フルブース (エンド)	6大学	関西大学、関西学院大学、上智大学、武蔵大学、明治大学、 立命館アジア太平洋大学+JASSO（Informationとして）
フルブース (通路)	7大学	桜美林大学、国際教養大学、中央大学、東北大学、北海道大学、立教大学、 立命館大学+ JAFSA（取りまとめ機関として）
シェア ブース	15大学 1機関	青山学院大学、叡啓大学、大阪学院大学、岡山大学、関西外国語大学、 京都外国語大学、近畿大学、國學院大學、西南学院大学、創価大学、 東海大学、東京大学、東京都立大学、名古屋外国語大学、横浜市立大学 森興産株式会社 [JAFSAプラチナ・エグゼ賛助会員]

コロナ前の日本ブースが約40-50団体で40-45区画であったのと比較すると、今大会は6-7割の規模でしたが、大会全体が通常の6割程度であったため、結果として「日本ブース」は会場内で、コロナ前と変わらず最大規模を誇り、華やかな桜の装飾と共に、来場者を惹き付けました。日本ブース内での各出展大学・機関は、終始打合せや情報交換を活発に行い、海外提携校との関係強化に向けた協議、各種プログラムの広報、新たな提携・協力関係を築くための新規開拓、といった活動を積極的に展開しました。

●JAFSAセッション

「JAFSAセッション(JAFSA Session)」とは、2011年より毎年NAFSAからJAFSAに対して特別枠をオファーされて実施している、日本の高等教育に関する発表です。文部科学省にも発表を依頼しており、各大学の個別事例とともに日本の実情や今後の目標などをプレゼンテーションする良い機会となっています。

NAFSA2022大会でのJAFSAセッションは、スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の後継として、文部科学省が2021年9月に発足させた「大学の国際化促進フォーラム」および、その中のプロジェクトの一つ「オンライン国際教育プラットフォーム『Japan Virtual Campus』」を取り上げました。セッションを聞いた参加者が日本ブースに立ち寄るなど、セッションを通して交流が広がりました。

- ・実施日:2022年6月1日(木)14:30-15:20(米国現地時間)
 - ・講演タイトル:Japan's New Challenges for an International Online Education Platform
 - ・参加人数:約50名
 - ・登壇者
 - ◆森下 哲朗(上智大学[JAFSA会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)
 - ◆末松 和子(東北大学 総長特別補佐(国際交流担当)
高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 副センター長 教授)
- ※登壇を予定していた文部科学省ご担当者による発表は、事前に録画した動画を放映しました。

2) EAIE

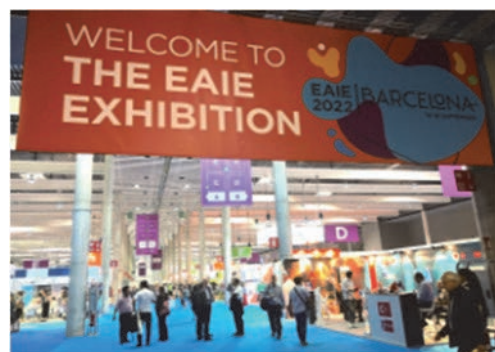
- EAIEはNAFSAについて世界で2番目に大きい国際教育交流大会といってよく、世界各国より6,000名以上が参加するヨーロッパの国際教育交流分野最大のコンベンションです。JAFSAのグローバルネットワークワーキング事業としてNAFSAと同様力を入れていますが、JAFSA会員大学の中でもEAIEの存在が定着しています。
- EAIEの年次大会は、毎年1回9月中旬に欧州各地の持ち回りでほぼ一週間の会期で開催されます。特別講演、セッション、ワークショップ、ネットワーキングのためのさまざまなイベントが催されるほか、展示ホールでのブース出展が行われ、世界中の教育機関から多くの参加者が集まります。

EAIE2022 スペイン・バルセロナ大会と「STUDY in JAPAN」

『EAIE年次大会』は、2019年ヘルシンキ・フィンランド大会以降、コロナ禍のためオンライン開催が続いていましたが、2022年9月にスペイン・バルセロナで対面開催が復活しました。大会参加者は、コロナ前は約5-6,000名だったところ、今大会はついに6,300名以上となり、過去最高を記録。JAFSAは独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と協力し、会員大学17校を取りまとめて「STUDY in JAPAN(日本合同ブース)」を出展しました。

- ・開催日:2022年9月13日(火)～9月16日(金)(スペイン現地時間)
- ・開催地:スペイン・バルセロナ Fira Barcelona Gran Via
- ・参加国:90か国以上
- ・参加人数:6,300名以上(過去最高)
- ・出展数:213ブース

大会公式サイト:EAIE Barcelona 2022



今大会は過去最高の参加者を記録し、多くの大学関係者が対面交流を待ち望んでいたことが伺えた一方で、まだコロナ禍の影響も残り、国・地域を代表するパビリオン(集合ブース)を見ると、アジア、中南米、アフリカ勢は少なく、参加者の内訳は例年に比べて欧州中心のカラーが強く見られました。しかしながら、NAFSA以上にレセプション(ブース内レセプション含む)も復活しており、参加者同士の交流・情報交換は大変活発に行われました。

●「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)

EAIE の展示会場は、地域別にブース配置が行われる傾向があり、今回、日本はアジア圏の中でも最前線の箇所に配置されました。会期中、途切れることなく海外大学の方が来場され、ブース内は終日多くの打合せで賑わっていました。

EAIE2022「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体

全 13 ブース、17 大学+2 機関 <団体名 50 音順>

フルブース	5 大学	関西学院大学、上智大学、立教大学、立命館大学、 立命館アジア太平洋大学 JASSO (Information として)、JAFSA (運営機関として)
シェアブース	12 大学	叡啓大学、桜美林大学、大阪学院大学、関西大学、九州大学、 国際教養大学、帝京大学、東京都立大学、東北大学、南山大学、 日本大学、北海道大学

●2022大会パートナーのカタルーニャ州政府の高等教育部より

カタルーニャ州政府の高等教育担当部局よりJAFSAに連絡が入り、大会期間中の州政府主催のレセプションに対して、日本の出展大学が招待を受けました。会期中には、カタルーニャ州政府の高等教育担当者とJAFSA・JASSOで、日本ブースにてミーティングを実施し、今後のコラボレーション等について意見交換を行いました。

●在バルセロナ日本総領事との意見交換

今回は在バルセロナ日本国総領事館とスペイン・日本間の留学の状況や課題について意見交換を行う機会を得たとともに、領事館のホームページにも掲載されました。

3) APAIE

- APAIE(Asia-Pacific Association for International Education エーパイ)は、アジア太平洋地域の国際教育交流団体です。毎年3月頃開催される年次大会は、NAFSA(北米)、EAIE(欧州)に比べ歴史が新しく規模も小さいものです。当初は東アジア、東南アジア中心の地域的な団体色が濃かったものの、近年は大会参加者・参加機関ともに増え、他地域、特に欧米からの参加も増大しました。
- JAFSAは、2014年3月ソウル大会より、会員大学を取りまとめて「STUDY in JAPAN」ブースとして出展しています。

APAIE2023 タイ・バンコク大会と「STUDY in JAPAN」

『APAIE年次大会』は、コロナ禍で2019マレーシア・クアラルンプール大会以降ずっとバーチャル開催となっていました。4年ぶりによく対面開催となりました。

- ・開催日：2023年3月13日(月)～17日(金)(タイ現地時間)
- ・開催地：タイ・バンコク Queen Sirikit National Convention Center
- ・参加国：65か国以上
- ・参加人数：2,700人以上
- ・出展数：146 ブース

当初コロナ禍の影響も心配されましたが、前回対面開催の2019年クアラルンプール大会参加者数・出展ブース数を超える盛大な大会となりました。日本合同ブースは展示会場の正面入口すぐの好立地にブースを構えた為、大会期間中、終日海外参加者による来場者で賑わっていました。会場内でのNetworking Lunch/Coffee Breakなども提供され、各国のレセプションも復活しました。



●STUDY in JAPAN (日本合同ブース)

APAIE2023「STUDY in JAPAN」(日本合同ブース)出展団体

全 14 ブース、17 大学+1 機関 <団体名 50 音順>

フルブース	8 大学	神奈川大学、関西学院大学、上智大学、東北大学、名古屋大学、立教大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学 +JAFSA (取りまとめ機関として)
シェアブース (2 団体で 1 ブース使用)	9 大学 1 機関	叡啓大学、大阪学院大学、岡山大学、関西大学、國學院大學、中央大学、帝京大学、東海大学、南山大学 森興産株式会社 [JAFSA プラチナ・エグゼ賛助会員]

●「2022 年度 JAFSA 海外教育フェア参加奨学金」受給者募集(APAIE2023 大会参加者対象、団体正会員大学限定)

JAFSA では、国際交流部署の若手職員の海外教育フェア等への参加を、国際関連業務に関する「スタッフデベロップメント(SD)」と位置づけ、「参加奨励金」を支給しています。受給者には「国際交流部署の若手職員として海外教育フェア等に参加することで、世界の国際教育交流の現場を体験し、所属している大学における今後の業務に生かすこと、国際交流の課題を見つけること」が期待されます。

APAIE は、参加人数や参加者層から、初心者・若手でも参加しやすいという特徴があるため、「奨励金」の対象のフェアとしていましたが、COVID-19 の影響で 2020 年度、2021 年度は募集を見合わせていました。APAIE2023 バンコク大会の対面開催復活に合わせて、奨励金の募集も再開しました。

2022 年度(APAIE2023 大会参加対象)の奨励金採用者

(大学名 50 音順)

- ◆段 瑶(ダン・ヨウ) 京都外国語大学 国際部 主事
- ◆小野 香奈子 国際教養大学 国際センター
留学派遣チーム 留学コーディネーター(派遣担当)
- ◆ブティ・グアン 名古屋経済大学 国際交流センター 主査補



4) AIEA

- AIEA(Association of International Education Administrators エイ・アイ・イー・エイ)は、1982 年創立の米国の国際教育交流団体です。NAFSA, EAIE, APAIE とはカラーが異なり、高等教育機関の経営や教育方針に関する意思決定者が多くメンバーになっていることが特徴です。参加者は 1,000 名程度(コロナ禍前)で米国からの参加者が多数ですが、日本の大学からの参加者数も徐々に増えています。2019 年より、JAFSA はコーポレートメンバーとして会員登録しています。年次大会は毎年ほぼ 2 月に米国ワシントン D.C(2 年連続)とサンフランシスコ(3 年に 1 度)で行われ、セッション中心で形成されています。
- JAFSA では、日本の参加者増に合わせて 2017 年次大会(2017 年 2 月)より、JAFSA 理事大学を中心に構成したセッション発表で参加しています。AIEA 年次大会でのセッションは質を求められるため、審査が大変厳しい状況で、JAFSA セッションは 2023 年 2 月大会で 7 年連続採用されました。大会での発表を通し、日本の高等教育のプレゼンスを高めることに貢献しています。

AIEA2023 米国ワシントン DC 大会

2023 年大会においても下記のように採用され、発表する機会を得ました。

- ・実施日:2023年2月21日(火)9:15-10:15 (米国現地時間)
- ・講演タイトル:Elevating The International Education Experience for Students
Through a Japanese Lens
- ・参加人数:20名
- ・登壇者
 - ◆マシュー・ウィルソン:セッションチェアー (テンプル大学ジャパンキャンパス [JAFSA理事校] 学長)
 - ◆高橋 裕子(津田塾大学 [JAFSA理事校] 学長)
 - ◆吉川 直人(東海大学 [JAFSA 理事校] 副学長(国際担当))

・発表概要

University students are regularly seeking more value for their tuition dollars, and universities are constantly striving to respond.

In the context of international education, universities need to provide more value. Through the lens and experience of Japan, this panel will discuss how to create a win-win scenario for students and institutions in a post-COVID era focusing on dual degrees, overseas campuses, concurrent admission, joint programs, study abroad, technology, and student training opportunities.

5) CAEI

CAEI(Conference of the Americas on International Education)は、中南米エリアを中心とした国際高等教育ネットワークです。大会は 2 年に一度、北中南米のいずれかの都市で主催され、IOHE (Inter-American Organization for Higher Education)が CAEI 大会の運営を行っています。2021 年はチリのサンティアゴ開催予定がオンライン大会に変更されたため、中南米地域におけるネットワーク作りとして初の試みとなる「日本ブース」を合同出展しました。また、中南米諸国との連携を通じた日本の大学の取り組みとプロジェクト成果を紹介するセッションも実施しました。2022 年は大会開催がありませんでしたが、継続して情報交換を適宜行っています。

6) NIEA

NIEA(Network of International Education Associations)は、高等教育の国際化を進める非営利・非政府団体で、JAFSA は、AIEA(NIEA の創設メンバー)、NAFSA、EAIE、APAIE とともに、NIEA のメンバーとなっています。NAFSA、EAIE、AIEA の各大会において NIEA の打合せやレセプションが開催され、NIEA メンバーが集まって互いの活動・近況の報告が行われます。JAFSA は JAFSA 役員と共に打合せや各レセプションに参加しています。

2. 国際教育交流の人材育成に関する事業

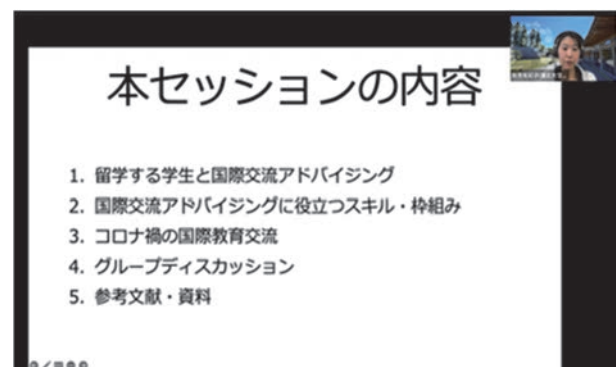
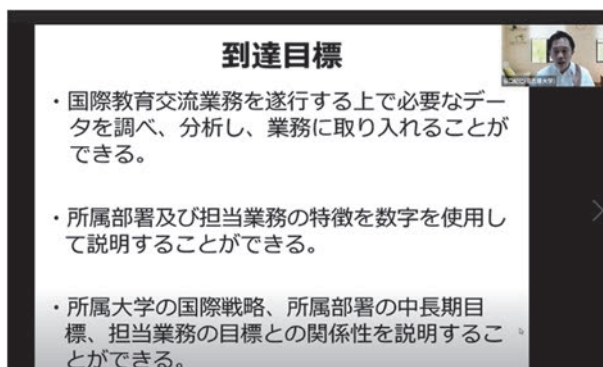
コロナ禍が続く中、2022 年度も「オンライン」での研修・セミナーを実施。オンラインでも「参加者同士の交流」「ネットワーキング」が活発に行えるよう留意しました。また、定番の研修(初任者研修、実践英語研修)を踏襲しつつ、コロナ禍と留学をめぐる状況が刻々と変化する中、時事に応じた「ウェビナー」「ワークショップ」を臨機応変に実施しました。

2-1. JAFSA 主催・企画研修プログラム

(1) オンライン「初任者研修」～基礎から学ぶ国際教育交流～(JAFSA 会員限定)

主 催: 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

JAFSA 研修の中では、文字通り「基礎」と呼べる定番のもので、年に 5 回、同じ内容で実施。即満席となる人気の研修です。留学生受け入れ・送り出しを含む、国際関係業務の初任者向けで、理論と実践を結びつけ、基礎力強化を目指しています。



・講 師:(講義順)

◆谷口 紀仁 (名古屋大学 大学院教育発達科学研究科担当 講師)

◆葉佐 賢太郎 (関西学院大学 国際連携機構事務部 職員)

◆三浦 雅美 (日本大学 文理学部 教務課 職員)

◆新見 有紀子 (東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 講師)

・実施方法: Zoom によるオンライン開催

第1回

・実施日: 2022 年 5 月 23 日(月)・24 日(火)

・参加者: 19 名 / 16 団体会員(16 大学)

第 2 回

・実施日: 2022 年 6 月 27 日(月)・28 日(火)

・参加者: 19 名 / 17 団体会員(16 大学、1 機関)

第3回

- ・実施日:2022年7月20日(水)・21日(木)
- ・参加者:15名/12団体会員(11大学、1機関)

第4回

- ・実施日:2022年10月17日(月)・18日(火)
- ・参加者:18名/16団体会員(16大学)

第5回

- ・実施日:2022年12月5日(月)・6日(火)
- ・参加者:21名/18団体会員(18大学)

(2) オンライン「実践英語研修」～Practical English for International Office Staff～ (JAFSA 会員限定)

共 催:ブリティッシュ・カウンスル [団体正会員]

2008 年度より開始。「初任者研修」と並んで、定番研修として会員間に定着しています。ブリティッシュ・カウンスルという公的機関とのタイアップ、国際教育交流の現場に特化したプログラム内容などが、評価されている要因と言えます。

年間回数・実施時期・テーマ等を基本的に 2021 年度と同様にしてオンラインで実施。グループワーク・ペアワークを取り入れた実践的な内容で、日頃業務で英語を使用している国際部署の現場の方々、英語力をさらにブラッシュアップする機会として好評を得ました。講師はすべてブリティッシュ・カウンスル英語講師です。

第1回 Introductory Business English ～ ビジネス英語-初心者向け～

- ・実施日:2022年5月26日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:11名/9団体会員(9大学)10名、個人賛助1名

第2回 Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone

～学生へのサポート(対面・メール・電話)-中上級者向け～

- ・実施日:2022年7月7日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:12名/11団体会員(11大学)

第3回 Writing for Public Access Communication ～大学広報文の書き方-中上級者向け～

- ・実施日:2022年8月4日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:11名/9団体会員(9大学)

第4回 Advanced Writing ～交渉、報告書・提案書の書き方-中上級者向け～

- ・実施日:2022年10月13日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:7名/7団体会員(7大学)

第 5 回 Presentations:Your University ～大学紹介とプレゼンテーション-中上級者向け～

- ・実施日:2022 年 10 月 27 日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:6 名/6 団体会員(6 大学)

第 6 回 Business Speaking

～ビジネススピーキング 大学紹介、ネゴシエーション・クレーム対応-中上級者向け～

- ・実施日:2022 年 12 月 1 日(木) 9:30-17:00
- ・参加者:12 名/11 団体会員(11 大学)

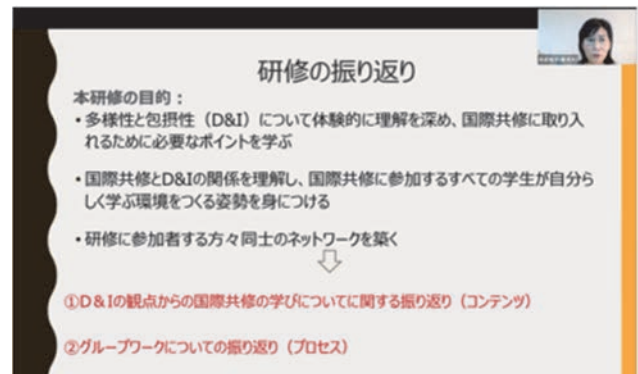
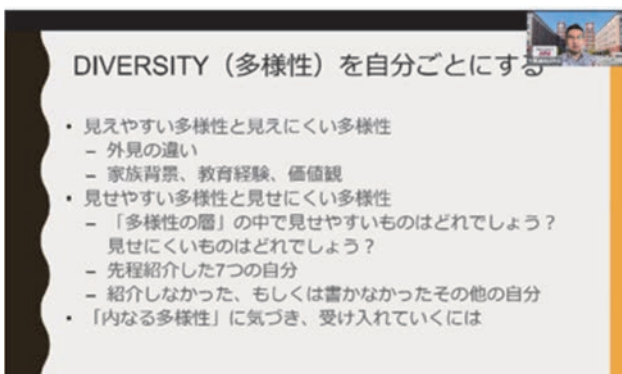
(3) オンライン「国際共修研修」

主 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

企画・協力:講師陣(講師名箇所を参照)

「国際共修」とは、言語や文化的背景の異なる学習者同士が教育的に工夫された仕掛けによって、意味ある交流を通して多様な考え方を共有・理解・受容し、自己を再解釈する中で新しい価値観を創造する学習体験で、国内外の大学で 2000 年代頃より国際教育を中心に開発・実践が進んでいます。

国際共修の分野で経験豊かな講師陣が企画から手掛けるこの研修は、分かりやすい講義、優れたファシリテーションと共に、今年度も参加者より高い満足度を得ました。



研修名:JAFSA 国際共修研修 2022「すべての学習者が自分らしく学べる国際共修をつくるには」

- ・実施日:2022 年 11 月 11 日(金) 10:00-15:30
- ・講 師:(講義順)

◆末松 和子(東北大学 総長特別補佐(国際交流担当))

高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 副センター長 教授)

◆平井 達也(立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター センター長 教授)

◆米澤 由香子(東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 准教授)

◆秋庭 裕子(東洋大学国際共生社会研究センター 客員研究員)

- ・参加者:12 名/9 団体会員(9 大学)9 名、個人賛助会員 3 名

(4) オンライン 危機管理研修

2021 年度に、特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[JAFSA 理事団体]協力のもと、「COVID-19 と海外派遣留学をめぐる危機管理」をテーマにしたオンライン・ワークショップをシリーズ化して年 3 回実施。大変好評を得ました。

2022 年度も、コロナ禍が依然続いていることと、いっぽうでのウクライナ侵攻等の各地での戦争・紛争の影響も派遣留学に影響を与えていることから、「危機管理」ワークショップに継続して取り組みました。

1) コロナ禍における本格的な国際交流再開に向けての検討

- ・共催: 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[JAFSA 理事団体]
- ・実施日: 2022 年 4 月 20 日(水) 13:00-15:30
- ・講 師: 酒井 悦嗣 (JCSOS アドバイザー)
- ・参加対象: JAFSA 会員および JCSOS 会員限定
- ・参加者(JAFSA 会員のみ、全体では 26 名): 7 名/4 団体会員(4 大学)6 名、個人賛助会員 1 名

2) 国家間の紛争・戦争時における学校の危機管理

- ・主催: 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
- ・協力: 特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[JAFSA 理事団体]
- ・実施日: 2022 年 10 月 25 日(火)13:30-15:30
- ・講 師: 酒井 悦嗣 (JCSOS アドバイザー)
- ・参加対象: JAFSA 団体正会員大学・高専および JCSOS 会員限定
- ・参加者(JAFSA 会員のみ、全体では 12 名): 11 名/7 団体会員(7 大学)

(5) オンライン DE&I 研修「国際交流における障がい学生支援」

主 催: 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

JAFSA は 2021 年度より「DE&I(Diversity, Equity & Inclusion)」に関する JAFSA 特別 Webinar を開催していますが、更に発展する形で 2022 年度より新しく本研修を開始。参加者が、講義や議論を通じて、「国際交流において障がい学生をどう支援するかの基本概要を理解する」「自分の所属する大学・高専において、どのように適用するかを考察する」ことなどを目的としています。

・実施日

第 1 回: 2022 年 10 月 28 日(金) 9:00-12:30

第 2 回: 2023 年 2 月 17 日(金) 9:00-12:30 ※第 1 回・第 2 回とも同じ内容

・形 式: オンライン(Zoom ミーティング)

・講 師:

◆望月 直人(大阪大学 キャンパスライフ健康・相談支援センター相談支援部門 准教授)

◆池谷 航介(岡山大学 教育推進機構 障がい学生支援室 准教授)

・参加者

第1回:10名 / 7 団体会員(7 大学)

第2回:17名 / 13 団体会員(13 大学)

2-2. JAFSA 主催／共催 特別ウェビナー、オンライン・ワークショップ

長引くコロナ禍で、大学を取り巻く留学環境は日々変動しています。2022 年度も引き続き、会員のニーズに応じた企画を会員特典として参加費無料にて実施しました。新企画は総計で「9 件」となりました。

(1) Webinar「Internationalization at Home」～大学での国際化～

COVID-19 の影響を受け、ここ数年の国際交流や留学の現場は、他の業界と同様に大きな転換期を迎えています。中小規模の大学では特に様々な点で課題を抱えている中で、今回、自主的な意見交換を進めていた大阪学院大学を中心に、現状の課題をふまえて学内の現場で今できることや今後に向けての新たな取り組みを、神田外語大学とともにご担当者にご登壇いただきました。

・実施日:2022 年 5 月 25 日(水)14:00-15:20

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:70 名(40 大学、6 教育関係機関、1 賛助会員、5JAFSA フレンズ)

・登壇者および発表内容(登壇順)

◆小堀 由佳(神田外語大学 国際戦略部国際戦略チーム)

神田外語大学の取り組み～with コロナのキャンパス国際化

◆畑中 みどり(大阪学院大学 国際センター 派遣プログラムコーディネーター)

◆合田 有紀(大阪学院大学 国際センター 助教 受入プログラムコーディネーター)

大阪学院大学の取り組み～学生がけん引するキャンパスの国際化

(2) Webinar「国際業務と LGBTQ+」

社会的な取り組みが急務な LGBTQ については、大学の国際業務でも同じく取り組む課題となっています。JAFSA 理事校の関西大学は、この問題をスタッフの研究会などを始め、管理職の理解も得ながら大学での活動を進めていきました。Webinar では、海外での対応状況や学内での事例紹介などをお話いただきました。今後も同様に取り組む大学との意見交換の一助としたいと思います。

・実施日:2022 年 7 月 27 日(水)11:00-11:45

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:54 名(38 大学、3 教育関係機関、2 賛助会員、3JAFSA フレンズ)

・登壇者:西脇 菜穂子(関西大学 国際事務局 国際教育グループ)

(3) Webinar「NAFSA2022 報告会」

NAFSA2022 デンバー大会に日本合同ブース「STUDY in JAPAN」として出展した数校をお迎えし、それぞれの立場から大会を振り返って頂く報告会を設けました。久しぶりの対面での海外フェアに参加した様子、大会中の活動、そして得られた成果等を発表いただき、参加者にとっては今後の海外フェア参加に向け

て他大学の事例を知り、情報収集をする好機となりました。

・実施日:2022 年 8 月 9 日(火)13:30-14:50

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:約 75 名(40 大学、5 教育関係機関、1 賛助会員)

・登壇者および発表内容(登壇順)

◆JAFSA 事務局:NAFSA とは

◆森下 哲朗 (上智大学 グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)

JAFSA 会長校より報告

◆岡本 大夢 (叡啓大学 教学課 主任)

地方公立大学として NAFSA 大会初出展の意義・成果

◆神田 延男 (桜美林大学 学務部新宿キャンパス事務室 係長)

ポストコロナ大会としての NAFSA 大会参加を振り返って

◆大村 吉弘 (近畿大学 国際学部教授 グローバルエデュケーションセンター 副センター長)

ポストコロナ大会としての NAFSA 大会参加を振り返って

◆庵道 由香 (立命館大学 国際部 副部長 兼 衣笠国際教育センター長/文学部東アジア研究学域 教授)

既存協定校メンテナンス・新規協定校開拓-NAFSA 大会参加の意義

(4) Webinar「障がい学生支援のこれから」～大学にインクルーシブな風土を醸成する観点から～

現在、大学・機関等において、障がいに応じた合理的配慮を提供するため、部署の設置や施設・設備の改善といった支援体制の整備が進んでいます。しかしながら、真にインクルーシブでひらかれた場にしていくためには、個別的な支援の充実だけではなく、ダイバーシティの価値を全学で共通理解していくことが求められます。本ウェビナーでは、全学的な取り組みの重要性について、話題を提供しました。

・実施日:2022 年 8 月 31 日(水)10:00-10:45

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:45 名(27 大学、2 教育関係機関、1 賛助会員、3JAFSA フレンズ)

・登壇者:池谷 航介 (岡山大学 教育推進機構 障がい学生支援室 准教授)

(5) Webinar「メタバースを活用した新しい形態のオンライン海外研修プログラムについて」

コロナ禍により、世界各国の大学で、オンライン授業や COIL 型プログラムの導入が進んでいます。当ウェビナーでは、現実空間と同様に人々が交流する仮想空間である「メタバース」において、参加者の身体を仮想的に表現するアバターを用いて、国内学生と海外大学の学生(マレーシア)とで実施した COIL 型短期研修プログラムの内容を紹介しました。また事前事後アンケート及び録画内容から測定及び分析された学習効果についても報告しました。旬な話題で大きな反響を呼び、参加者多数、アンケート結果の満足度も高くなりました。

・実施日:2022 年 9 月 9 日(金)13:30-14:15

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:101 名(56 大学、6 教育関係機関、1 賛助会員、3JAFSA フレンズ)

・登壇者:仙石 祐(信州大学 学術研究院総合人間科学系 グローバル化推進センター 講師)

(6) Webinar「第3 機関を通しての海外大学派遣先の拡大と学生サポート拡充」

JAFSA 団体正会員で、国内外の大学と連携して学生モビリティに貢献している第3 機関である SAF スタディ・アブロード・ファウンデーションを迎え、その活動内容やメンバー校の留学事例のご紹介をいただきました。JAFSA 会員大学およびその学生にとって、海外大学の派遣先やプログラムの選択肢を増やすことができ、しっかりとした危機管理体制やサポートのもと留学できる方法の一つとして、第3 機関の利用を提案しました。

・実施日:2022 年 10 月 19 日(水)10:00-11:15

・共 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション [JAFSA 団体正会員]

・参加対象:団体正会員大学の国際関連部署教職員

・参加者:27 大学より 40 名

・登壇者および発表内容(登壇順)

◆藤本 実千代 (SAF アシスタントディレクター、大学リレーションズ・プログラム開発)

SAF 活動紹介

◆Gwendolyne Guzman Rose (Senior International Business Development and Marketing Manager, Division of Extended Studies, University of California San Diego)

SAF 利用の海外大学の事例 - 米国 University of California San Diego

◆工藤 奈緒子(駒澤大学 国際センター事務局 係長)

SAF 利用の日本の大学の事例 - 駒澤大学

◆伊藤 美那(立教大学 異文化コミュニケーション学部・留学準備室 教育研究コーディネーター)

SAF 利用の日本の大学の事例 - 立教大学

(7) Webinar「学内における国際関係予算獲得戦略について」

大学の方針として国際化(グローバル化)は推奨されている一方、実際、プログラム遂行にあたり、学内予算獲得の壁が存在しています。その中で優先順位を高め、いかに次年度予算を国際交流分野で獲得できるかが課題となります。当ウェビナーでは、国立・公立・私立という属性の中で、どのような方策をとって成功事例につなげたり、課題を克服しているか等を報告しました。

・実施日:2022 年 11 月 1 日(火)13:00-14:25

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:83 名(54 大学、4 教育関係機関、4 賛助会員、3JAFSA フレンズ)

・登壇者および発表内容(登壇順)

◆大林 小織(大阪大学 [JAFSA 監事校] グローバルイニシアティブ機構 准教授)- 国立事例

◆岡本 大夢(叡啓大学 教学課 主任)- 公立事例

◆中村 文武(桜美林大学 国際センター 国際交流課長)- 私立事例 1

◆鳥海 健(関西大学 [JAFSA 理事校] 国際事務局 国際教育グループ
留学推進チーム 課長)- 私立事例 2

(8) Webinar「EAIE2022 報告会」

NAFSA2022 デンバー大会同様、EAIE2022 バルセロナ大会についても報告会を実施しました。日本合同ブース「STUDY in JAPAN」として出展した大学より、公立・私立、大学規模、フェア出展経験年数等の観点より3校をお迎えし、それぞれの立場から経験談を披露いただきました。

・実施日:2022年11月30日(水)11:00-12:00

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:50名

・登壇者(登壇順)

◆JAFSA 事務局:EAIE とは

◆先崎 トラビス (国際教養大学 事務局 国際連携オフィサー)

◆平山 陽一郎 (帝京大学 国際化推進室 課長)

◆Jacob Jarl (立命館アジア太平洋大学 アカデミックオフィス)

(9) Webinar「留学先におけるセクハラ・性暴力の現状と防止の取り組み」

留学先における問題の1つとして挙げられるセクシャル・ハラスメントや性暴力について取り上げました。

現状報告や、渡航(留学)前に学生本人だけではなく、大学の担当者・関係者が知っておくべき事、防止のためにできる事等を「留学に行く全ての学生が性暴力の被害に遭わない社会」を目指し活動をしている団体 SAYNO!と関西大学からお話しいただきました。

・実施日:2023年3月27日(月)17:00-17:50

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加者:80名(47大学、3教育関連機関、3賛助会員、5JAFSA フレンズ)

・登壇者(登壇順)

◆SAYNO! (留学に行く全ての学生が性暴力の被害に遭わない社会を目指して活動している団体)

◆西脇 菜穂子(関西大学 国際事務局 国際教育グループ)

2-3. JAFSA 共催(共同)調査

会員大学間で留学をめぐる現況が共有できるよう、調査(アンケート)を2021年度より継続して実施しています。理事団体の特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS)の協力を得て行いました。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と海外派遣留学プログラム実施に関するアンケート」

第3回、第4回

・実施日:(第3回)2022年9月、(第4回)2023年3月

・共催:特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS) [JAFSA 理事団体]

・内容:JCSOS 会員校および JAFSA 会員大学・高専の海外派遣留学プログラム等の実施状況等を収集し、実態を会員間で共有するためのアンケート。(回答結果は、回答校限定公開)

2-4. JAFSA 協力/後援プログラム

団体会員(正会員・賛助会員)による各種フェア・プロジェクトにおいて、企画や広報等で協力。内容や関わり方の程度により、協力・後援等の形で対応しました。

(1) 在日海外公館コラボセミナー

① 日加高等教育機関オンライン説明会

- ・主 催:在日カナダ大使館[団体会員]
- ・協 力:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
- ・参加対象:日本の大学、高専、高校など
- ・実施日: 2022 年 6 月 23 日(木)～6 月 24 日(金)
- ・実施形態:オンライン

② 女子大学限定交流セミナー

- ・主 催:ニュージーランド大使館 エデュケーション・ニュージーランド[団体会員]
- ・協 力:ニュージーランド航空、特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
- ・参加対象:女子大学の教職員
- ・実施日: 2022 年 8 月 31 日(水)
- ・会 場:ニュージーランド大使館

③ 英語「で」教えるための無料体験ワークショップ

“Connect with CLIL: Helping students access academic content in English at university”* ～豪州の講師とライブで繋ぐ実践体験！～

(**CLIL = Content and Language Integrated Learning*)

- ・主 催:オーストラリア キーンズランド州政府 駐日事務所[団体会員]
- ・協 力:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
- ・参加対象:JAFSA 会員の教員
- ・実施日: 2022 年 10 月 27 日(木)
- ・実施形態:オンライン

④ 米国教育 DX ウェビナー:学修歴証明のデジタル化加速に向けて

- ・主 催:米国大使館・総領事館 商務部[団体会員]
- ・広報協力:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)
- ・参加対象:大学関係者、企業(人事担当者)、政府関係者、就職斡旋企業など
- ・実施日: 2022 年 11 月 30 日(水)
- ・実施形態:オンライン

(2) JAFSA 協力プログラム

① 海外留学オンラインセミナー

- ・主 催：一般社団法人 日本旅行業協会[団体正会員]
- ・実施日：2022 年 5 月 11 日(水)

② いまさら聞けない！「QS 世界大学ランキング」初心者向けセミナー

- ・主 催：(株)KEI アドバンス[シルバー賛助会員]
- ・実施日：2022 年 5 月 25 日(水)

③ Diversity, Equity and Inclusion at Ritsumeikan Asia Pacific University and Kansai University

- ・主 催：IIGE (Institute for Innovative Global Education) [JAFSA 協力・連携団体]
- ・実施日：2022 年 11 月 18 日(金)

④ 2022 年度大学業務ソリューションセミナー

- ・主 催：(株)早稲田大学アカデミックソリューション[ダイヤモンド賛助会員]
- ・実施日：2022 年 12 月 13 日(火)～14 日(水)

⑤ International Forum 2023

- ・主 催：関西大学[団体正会員]
- ・実施日：2023 年 1 月 20 日(金)～21 日(土)

⑥ 2023 Pre-NAFSA Workshop

- ・主 催：NAFSA Japan-SIG
- ・実施日：2023 年 3 月 7 日(火)

(3) JAFSA 後援プログラム

① BJTビジネス日本語能力テスト

- ・主 催：公益財団法人 日本漢字能力検定協会[団体正会員]
- 2022 年度(通年)

② 2022 年国際教育夏季研究大会(SIIEJ2022)

- ・主 催：一般社団法人 国際教育研究コンソーシアム (RECSIE)
- ・開催日：2022 年 8 月 24 日(水)～ 27 日(土)

③ 欧州留学フェア 2022

- ・主 催：駐日欧州連合代表部
- ・共 催：Campus France フランス政府留学局・日本支局〔団体正会員〕、他
- ・開催日：2022 年 11 月 19 日(土)～ 20 日(日)

④ 留学生教育研究会ウェビナー

- ・主 催：一般社団法人 外国人留学生高等教育協会
- ・共 催：留学生教育学会、一般社団法人 国際人流振興協会〔団体正会員〕
- ・開催日：2022 年 11 月 19 日(土)～ 20 日(日)

⑤ 海外大学における留学生リクルーティングの事例研究セミナー

- ・主 催：一般社団法人 海外留学協議会(JAOS)〔団体正会員〕
- ・共 催：ICEF
- ・開催日：2023 年 2 月 21 日(火)

3. アウトリーチ・広報に関する事業

3-1. 国際教育交流に関する研究・調査

(1) JAFSA からの提言—岸田内閣総理大臣に対する要望書の提出—

2022 年夏の派遣留学が、コロナ禍と円安・航空代高騰で伸び悩んでいることを苦慮し、政府として留学への支援体制を構築いただくよう、3団体連名で要望書を提出しました。

・提出日:2022 年 8 月 3 日(水)

・提出先:首相官邸(ホームページ経由)

・要望団体(連名):特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS) [JAFSA 団体理事]

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)[JAFSA 団体正会員]

・タイトル:『大学の国際交流の再開に向けて』

(2) 「大学の国際化促進フォーラム」

「大学の国際化促進フォーラム」は、2021 年に発足。日本の大学の国際化をオールジャパンで促進する大学の主体的な活動の場として、SGU 採択校を中心に、世界展開力採択校及び希望する大学・機関等が会員となり、文部科学省等関係機関とも連携しつつ、大学の国際化に関わる取組みや研究の実施・共有・展開、情報の提供・共有を行います。

JAFSA は 2021 年度に正会員として入会。適宜情報交換を行い、事業をサポート及び参加しています。

(3) 「JPN-COIL 協議会」

「JPN-COIL 協議会」は、2018 年に発足。「COIL を始めとした次世代の国際連携教育手法を活用した双方向交流プログラムの構築及び運営にあたり、国内外の高等教育機関と連携し、相互に教育技術の向上や質の向上のための諸事業を展開することにより、世界の架け橋となる人材育成に寄与すること」を目的としています。関西大学(JAFSA 団体理事)が事務局を担っています。

JAFSA は 2021 年度に賛助会員として入会。適宜情報交換を行い、事業をサポート及び参加しています。

(4) 「IIGE(Institute for Innovative Global Education)」の事業活動協力

IIGE は「グローバル・キャリアマインドを培う COIL Plus プログラム」グローバル教育イノベーション推進機構(IIGE)として、関西大学が 2018 年に設置。高等教育の質の保証を図りながら、米国の大学との間で COIL 型教育を活用しつつ、日本人学生の海外留学や外国人学生の積極的受入を伴う教育連携プログラムを補助します。

JAFSA は 2021 年度に IIGE と MOA を締結。適宜情報交換を行い、事業をサポート及び参加しています。

3-2. JAFSA の広報に関する事業

(1) 2021 年度年次報告書の作成および配布

2022 年 8 月に団体正会員大学・高専に PDF にて配信。ダウンロードでの入手・閲覧のみとしました。
併せて HP にも掲載し、どなたでも WEB で閲覧できるようにしました。

(<https://www.jafsa.org/about/jafsa/>)

(2) ホームページおよびメーリングリスト運営

1)メーリングリスト運営・管理

- 団体・個人会員配信アドレス数(部署アドレス含む):約 1,000 件 推定読者数:約 5,000 名
- [jafsa-station](会員からの情報発信／イベント告知／人材募集)2022 年度年間配信数:約 500 通
- [jafsa-office] (事務局からの配信専用)2022 年度年間配信数:約 170 件
- 『SBP(ソーシャル・ビジネス・パートナーズ)ニュース』(賛助会員サービス:[jafsa-station])を活用して事務局より配信)

2)JAFSA ウェブサイトの運営

JAFSA を広く知ることができる一般ページと、JAFSA 会員のみがアクセス可能な会員専用ページに大きく分類。対象に応じた的確な情報が提供できるようにしました。



特定非営利活動法人JAFSA（国際教育交流協議会）
Japan Network for International Education

2022年度年次報告書

<https://www.jafsa.org>

日本の大学を、世界へ。